



令和元年7月2日（火）

件 名 防衛大臣の岩国市訪問について
概 要 防衛大臣が岩国市を訪問し、下記のとおり市長等と面談されたので、お知らせします。

記

1 日 時：令和元年7月2日（火）15時45分～16時15分

2 場 所：岩国市役所3階 政策審議室

3 来訪者：防衛大臣 岩屋 毅（いわや たけし）

4 応対者：

<山口県>

山口県副知事	弘中 勝久（ひろなか かつひさ）
山口県議会議員	柳居 俊学（やない しゅんがく）[岩国基地問題議員連盟連絡協議会代表]
山口県議会議員	榎本 利光（まきもと としみつ）[岩国基地問題議員連盟連絡協議会副代表]
山口県議会議員	畑原 勇太（はたはら ゆうた）[岩国基地問題議員連盟連絡協議会幹事長]

<岩国市>

岩国市長	福田 良彦（ふくだ よしひこ）
岩国市議会議員	桑原 敏幸（くわはら としゆき）[岩国基地問題議員連盟連絡協議会副代表]
岩国市議会議員	藤本 泰也（ふじもと やすなり）

<周防大島町>

周防大島町副町長	岡村 春雄（おかむら はるお）
周防大島町議会議員	荒川 政義（あらかわ まさよし）[岩国基地問題議員連盟連絡協議会副代表]

<和木町>

和木町長	米本 正明（よねもと まさあき）
和木町議会議員	兼本 信昌（かねもと のぶあき）

<大竹市>

大竹市長	入山 欣郎（いりやま よしろう）
大竹市議会議員	児玉 朋也（こだま ともや）

（同席）衆議院議員 岸 信夫（きし のぶお）

5 面談の概要

（1）防衛大臣の冒頭発言

○本日は、空母艦載機の移駐が昨年3月に完了し、地元の皆様から御理解と御協力をいただいていることについて、御礼を申し上げるために伺った。

○また、6月6日の特別要望の際にも、地元の実情についてお話しいただいたが、

防衛省としては、国の安全保障のために必要な施策を進めるには、地元の皆様の御理解と御協力を得ることが大変重要と認識しており、本日は、改めて皆様の御意見を直接伺いたい。

(2) 国に対する要望

ア 応対者の冒頭発言

(柳居県会議長)

○県、地元市町の執行部と、基地議連は、移駐判断前から互いに連携して、安心・安全対策はもとより、負担と貢献に見合う地域振興策が実現するよう要望を行い、県交付金の創設・拡充など、地元の要望に応えていただいているが、引き続き格別の御配慮をお願いする。

(弘中副知事)

○移駐後の状況について検証した結果、地域や時期によって差はあるが、移駐直前と比べて総じて騒音が増大している。国においては、移駐後の騒音状況や基地周辺住民の不安を受け止め、訓練場所の分散などの騒音軽減措置や、住民の不安解消に向け、FCLPの予備施設指定からの除外、さらには、住宅防音工事の拡充など、地域の実情に即した騒音対策に取り組むよう、改めてお願いする。

(福田岩国市長)

○岩国市においては、住宅防音工事の対象となる第1種区域を抱え、移駐後の騒音の影響には切実なものがあり、平成20年から要望を重ねている安心・安全対策や地域振興策については、引き続き、誠意ある対応をお願いする。

(岩屋大臣)

○岩国飛行場周辺の皆様が安心して安全に暮らせる環境を確保することは極めて重要であると認識している。引き続き、地元の皆様に与える影響を最小限にとどめるよう米側に申し入れるとともに、騒音対策等に万全を期していく。

イ 移駐後の状況を踏まえた騒音対策等について

(福田岩国市長)

○CQについては、夜間の離着陸により基地周辺住民に大きな影響を与えていることから、夜間の離着陸を可能な限り控えるなど、CQ実施時の運用時間帯への配慮について強く米側に求めるよう改めてお願いする。

○住宅防音工事の事務所・店舗等への対象施設の拡大については、市民や市議会からも強く求める声があり、防衛省としての今後の取組や、今の考えについて、是非、伺いたい。

○住宅防音工事の拡充については、年間W値だけでなく、艦載機滞在時の騒音状況に対応した第1種区域の見直しなども検討していただきたい。

(岡村周防大島町副町長)

○移駐後、当町が飛行ルートの下下となり、4月、5月のFCLP前後の訓練では騒音が激しい時期があるので、訓練の分散等の騒音軽減措置をお願いする。

○騒音測定器の増設など、移駐後の騒音の更なる実態把握をお願いする。

(米本和木町長)

○当町も以前と比べて騒音が大きくなっていると感じており、騒音測定器の増設による更なる実態把握や、米軍の運用に関する情報提供の充実をお願いする。

○当町には石油化学コンビナートがあり、航空機の部品落下等を心配する声もある。航空機の整備点検など安全対策に万全を期していただきたい。

(入山大竹市長)

○移駐後、多くの空母艦載機が上空を飛行することで、以前にも増して騒音が激しくなり、市民は騒音の増大や事故等への不安をますます募らせている。

(桑原岩国市議会議員)

○住宅防音工事の拡充について、国による実施が難しいのであれば、岩国市で対応できるよう、財源措置を講じてほしい。

(岩屋大臣)

○CQの際の状況については承知しており、米軍の訓練にあたっては、安全面や騒音面に最大限配慮しつつ、地元の皆様に与える影響を最小限にとどめるよう、米軍の高いレベルを含め、あらゆる機会を通じて、引き続き米側に求めていく。

○恒常的なFCLP施設の確保に向けた努力を行っており、スピード感を持って対応していく。

○事務所・店舗等への防音工事の助成については、どのような課題があるのか、地元の御要望を伺いながら、引き続きしっかりと検討していく。

○住宅防音工事の第1種区域は、これまでも飛行回数の単純平均ではなく、騒音が多い状況に対応する基準で指定しており、見直しの際には、艦載機滞在時の騒音状況に対応できると考えているが、至らぬ点があれば改善したい。

○米軍機の運用に関する状況については、引き続き、騒音状況の把握に努め、適切に米側に申入れを行うなど、しっかりと対応していく。

○米軍の運用に関する情報についても、可能な限り、適切な情報提供に努め、住民の不安解消に努力していく。

○航空機の安全対策についても、米側に対し万全を期すよう求めるとともに、米軍との協議の場もスタートさせている。

ウ 地域振興策の確実な実施について

(福田市長、岡村副町長、米本町長、入山市長)

○再編交付金の交付終了後の施策については、前向きな検討を確約するとの回答をいただいているが、地元の負担が続いていくことを踏まえると、住民の理解促進のためにも、交付金の延長・拡充は不可欠であり、確実に実施されるよう、強く願う。

(畑原県議会議員)

○県交付金については、現在、ハード・ソフト両面で有効に活用しているが、地元が求める事業に柔軟に対応できる使いやすい交付金となるよう、今後の運用改善について、特段の御配慮をお願いします。

(岩屋大臣)

○再編交付金の交付終了後の施策については、具体的な御要望をお伺いしながら、しっかりと前向きに検討していく。

○県交付金については、貴県が広域的な観点から実施する事業について、今後とも、貴県と密接に調整しながら、幅広い事業の採択に努めていく。

エ その他

(福田岩国市長)

○最近、米軍関係者による事件・事故が相次いでおり、市民は大きな不安を感じている。米側に注意喚起を促してほしい。

○海上自衛隊広報館「飛行艇ミュージアム（仮称）」は、海上自衛隊への理解をより一層深めるとともに、本市の観光振興など地域活性化にも大きく寄与するものであり、その整備について検討いただきたい。

（岩屋大臣）

○米軍人による事件・事故はあってはならないものであり、米側に対し隊員教育や綱紀肅正の徹底を図るよう働きかけているところであり、関係機関としっかり連携しつつ、事件・事故の防止に努めていく。

○海上自衛隊の博物館整備については、国の財政状況が厳しいところではあるが、我々として何ができるか、しっかりと考えていきたい。

（３）岸衆議院議員の発言

○移駐後、騒音が増大し、市民は様々な不安を抱えている。交付金の問題など、今後、しっかり対応していただきたい。

（４）防衛大臣の締めくくりの発言

○我が国の防衛政策や沖縄の負担軽減に御協力いただき感謝申し上げます。

○本日の皆様方の御意見、御要望については、しっかりと受け止めさせていただき、持ち帰って検討したい。

○今後とも、地元の皆様の御要望や御意見を、しっかりとお聞きしながら、安心・安全対策、地域振興策に全力で取り組んでいく。引き続き、皆様方の御理解と御協力をお願いします。

6 福田岩国市長コメント

本日、防衛大臣からは、改めて、空母艦載機の岩国飛行場への移駐や、F-35及びKC-130の受け入れについて、感謝の意が示されました。これを受け、主に、先月6月6日に特別要望した内容について、再度要望する中で、特に実現していただきたい取組みとして、事務所・店舗等への防音工事対象施設の拡大について要請しましたが、大臣からは、「店舗や事務所に拡充した場合には、どのような課題があるのか、地元の皆様の要望を伺いながら、引き続きしっかりと検討してまいります」旨の回答がありました。

また、今年度に入り、米軍関係者による事件や事故などが多発していることから、事件・事故の防止対策を求めると共に、海上自衛隊広報館「飛行艇ミュージアム（仮称）」の整備についても、再度要望いたしました。

空母艦載機の移駐が完了し1年余りが経過する中、今後とも、市民の皆様の思いをしっかりと受け止め、国や米軍には毅然とした態度で対応する方針のもと、安心・安全対策及び地域振興策の更なる充実に向け、全力で取り組んでまいります。

担当

岩国市総合政策部基地政策課
岩国市議会事務局庶務課

TEL0827-29-5024 FAX0827-21-3572
TEL0827-29-5190 FAX0827-21-1001